

新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html>

メールアドレス chuou@ac.city.myoko.niigata.jp

No. 267

2021（令和3）年1月22日

自分の物差し

先日、ちょっと体調を崩して怠（だる）かったのですが、熱や咳の症状は全くなかったので、いつも通り、校門の前で子どもたちと朝のあいさつを交わしていました。すぐに異変に気付きました。

子どもたちがいつも以上に進んで、そして「眼をあげて」あいさつをしてくれるのです。なんだか嬉しくなって、でも、子どもに心配される程、体調が悪そうに見えるのか、とさえ疑い始めた時、急に閃きました。「そうか、今日の怠い私は、いつもよりあいさつのタイミングが遅いのだ。」と。

あいさつのタイミングは、私の癖のようなもので、それを基準に「進んであいさつができる子、そうでない子」を無意識に区別していたのかもしれない。そもそも「お返しのあいさつ」をさせていたのは私自身かも、と思い、一瞬背筋が寒くなりました。（いえ、風邪の症状ではありません）。

人それぞれ、価値観や判断基準をもっていて、その物差しを基にいろいろな受け止めや判断をするのは当たり前のことです。でも、その物差しは正しいとは限らず、また、目の前の子どもの実態に合わせて伸び縮みした方が良い場合も、決して揺らいではいけない場合もあるに違いありません。そんなことを子どもたちから気付かせてもらった、怠くて、でも有意義な朝でした。

この1年、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々なご心配・ご迷惑をおかけしましたが、ご理解とご協力を賜り、本当にありがとうございました。どうか穏やかで和やかな新年をお迎えください。

年明けに、「眼をあげて」（校歌の1～3番全てで歌われている言葉です）登校してくる子どもたちに会えることを楽しみにしています。 校長 村治 隆夫

いよいよ降雪の時期になります。「まずは、命」です。以下、ご理解・ご協力をお願いします。

冬道 安全な登下校を！

本格的に雪が降ると、歩道や交差点にも雪が残り、道幅が狭くなります。雪の壁が高くなり、ドライバーの死角も増えます。状況を見て、学校では以下の指導を行います。ご家庭でも、お声掛けをお願いします。

- (1) 視野を広げて安全確認を行いやすいように、また、とっさの時に身を守ることができるように、傘は使わず、防寒着や帽子などを着用して登下校する。
- (2) 落雪が起こりそうな建物の軒下、流雪溝の蓋がある所などは、よけるようにする。
- (3) 雪玉を投げる、雪山に登る、除雪車に近づく、広がって歩くなど危険な行為はしない。
- (4) 滑って、バランスを崩しても対応できるように、ポケットに手を入れない。

車での送迎 事故防止に御協力を！

怪我や通院等で、車での送迎をされる際、降雪期は駐車場が狭くなり、ご迷惑をおかけしますが、子どもたちや道路を通行される方の安全確保のため、次のことをお願いいたします。

- (1) 校門付近（特にカーブ途中）での停車、乗降車は大変危険なので、しないでください。
- (2) 児童在校時間帯、除雪車・緊急車両・バス以外の車両は、校門（正面）から出入りできません。

通院等で、どうしてもお子さんの送迎が必要な場合は、体育館側の入り口から入り、校地内の駐車場をお願いします。その際は、くれぐれも安全第一、最徐行をお願いします。